

校内放射線観測結果(7月:第4週まで)

測定者 長谷川夢仁

測定場所 校地南西角(聖堂裏)

測定機器 放射線測定器 (PA-100 堀場製作所)

①地上1mで10分間測定:測定単位 $\mu\text{Sv/h}$

測定日	7・6	7・13	7・20	7・26	
測定時刻	17:20-17:30	15:55-16:05	16:25-16:35	16:40-16:50	
当量線量率	最小値	0.06	0.06	0.06	($\mu\text{Sv/h}$)
	最大値	0.09	0.10	0.11	($\mu\text{Sv/h}$)
	平均値	0.08	0.08	0.08	($\mu\text{Sv/h}$)

② 地上10cmで10分間測定:測定単位 $\mu\text{Sv/h}$

測定日	7・6	7・13	7・20	7・26	
測定時刻	17:30-17:40	16:05-16:15	16:35-16:45	16:50-17:00	
当量線量率	最小値	0.09	0.08	0.08	($\mu\text{Sv/h}$)
	最大値	0.13	0.12	0.13	($\mu\text{Sv/h}$)
	平均値	0.11	0.11	0.11	($\mu\text{Sv/h}$)

(以下の評価は先週の報告と変化ありません)

参考1から平常時の宮城県の当量線量率は $0.04 \mu\text{Sv/h}$ と見込まれます。また、屋内の放射線量の測定もほぼこの値を示しています。

現在の測定値の最大値 $0.16 \mu\text{Sv/h}$ では365日24時間浴び続けた場合には $(0.16-0.04)*24*365/1000=1.05\text{mSv}$ の増加となりますが、屋外での活動時間が8時間ならば年間でも 0.35mSv となり、今後の測定結果に注意を払う必要がありますが、活動制限の必要はないと考えます。

尚、空間の放射線量は大気中と地表の放射性物質の影響を受けるので一般に地表に近いほど値は大きくなります。

(参考1では屋上における測定なので校内での測定値より低くなっています)

参考1

宮城県と東北電力による発表値:宮城県庁屋上にて測定

<http://www.pref.miyagi.jp/gentai/Press/PressH230315.html>

測定日	7/5-7/6	7/12-7/13	7/19-7/20	7/25-7/26	
測定時刻	16:00-15:00	16:00-15:00	16:00-15:00	16:00-15:00	
当量線量率の平均値	0.063	0.063	0.062	0.062	($\mu\text{Sv/h}$)

※平成19年4月~平成21年3月では $0.018\sim 0.051 \mu\text{Sv/h}$ で推移